

かぶせ網によるアサリ放流効果の向上

【背景・目的・成果】

天然アサリの漁獲量が激減しています。アサリを増やすためにアサリの放流が行われていますが、アサリを干潟に放流するだけでは、食害などにより1ヶ月後にはほとんどいなくなってしまう。

そこで、アサリを放流した後に網をかぶせると、1ヶ月後でも9割近く生き残ることが分かりました。アサリ稚貝を放流した後、網をかぶせて1年経って、かぶせた網を取り除き、掘り起こしてみると・・・何と！アサリが「ざっくざっく」取れるではありませんか。1㎡あたり5～6kgものアサリが取れました。

かぶせ網 4m×4m

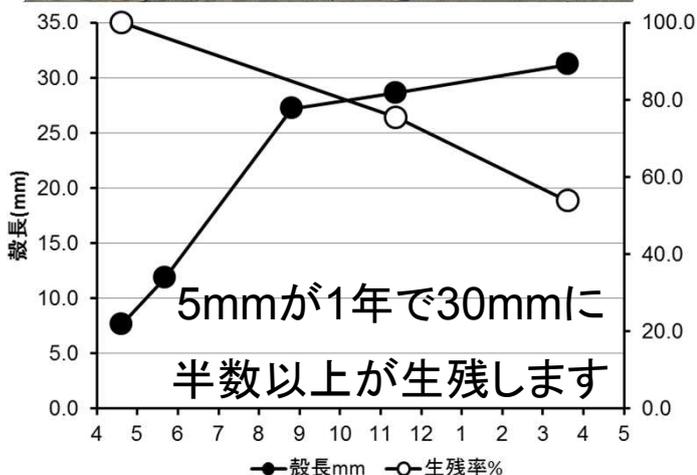


かぶせ網による生残向上効果

試験区	生残率(%)
被覆網区	86
対照区	13

供試アサリ: 15.5mm
被覆網: 4mmメッシュ
生残率: 放流1ヶ月後

何もしないと
1ヶ月でいなくな
ります



人工生産5mmアサリのかぶせ網放流

5mmのアサリを放流し、かぶせ網をして1年後には30mm以上に成長しました。かぶせ網4枚でご覧のとおり300kg以上のアサリが取れました。



【技術の活用】アサリのかぶせ網放流は波あたりの穏やかな場所で、河川からの砂の流入がないところなら実施可能です。県産人工アサリの大量生産と合わせて、県下での普及に努めます。